

よかところ通信



2006年3月号

オーツーフーム 大津勵志+耕太&愛梨
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 589
Tel&Fax : 0967-62-3730
E-mail: o2farm@aso.ne.jp
O2FarmWeb : www.aso.ne.jp/reisi

トピックス

● 子供たち元気。親は...?

- メスなのは、桔平と連蔵のせい？
- 今年も「野焼き」でいよいよ春本番！

オーツーフームにも雪を降らせた先日の寒波も過ぎ去り、いよいよ春も本番が近づいてきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか？



水仙の開花は去年よりもやや早め。

先月号で「桔平」と「連蔵」の出産を報告しましたところ、振込用紙の通信欄にたくさんの祝福のお言葉を頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。お陰さまで母子ともに順調で、特に母親エリは素晴らしい回復ぶり。もう何も心配はいらぬそうです。よかった！

人の子の次は、牛の子。今年に入り出産ラッシュに沸くオーツーフームですが、そんな中にも悩みがひとつだけ。牛の子がなんとメス続きなのです。「なんで続いてダメなのよ！」と女性陣から声が飛んできそうですが、市場では体が大きくなるオスの方が価格も10万円ほど高いのです。養う方としては食べる量が同じで、その他にかかる経費もほとんど同じ。ならばオスのほうが...と願う訳です。勵志いわく「耕太の所ばかりよかね！」。いやいやちょっと待って、こっちは人間ですよ！（笑）

ところで、阿蘇地方の春の大切な行事といえば何といても「野焼き」。「牧野（ぼくや）」とか「原野（げんや）」と呼ばれる牛の放牧場や採草地は冬の間ススキが中心の枯れ草に覆われています。そこに火を放ち、緑の再生を待つという大昔から続く農法です。最近では毎年3月の週末を利用して行われ、観光イベントとしても注目されています。ちなみにオーツーフームの所属する原野組合の野焼きは、この通信が発送された後、19日（日）の予定です。農家の減少、高齢化、永年草の栽培など様々な理由から、野焼きをする面積は極端に減りました。しかし炎の勢いはもの凄く、隣地に燃え移ったり、時には死者も出たりするほど危険な作業。野焼きが終れば一気に春本番。今年も無事に終る事を祈っています。



みんな健やかに育ちますように！



Q. さて問題。どっちがどっちでしょうか？ 答は振込用紙に。